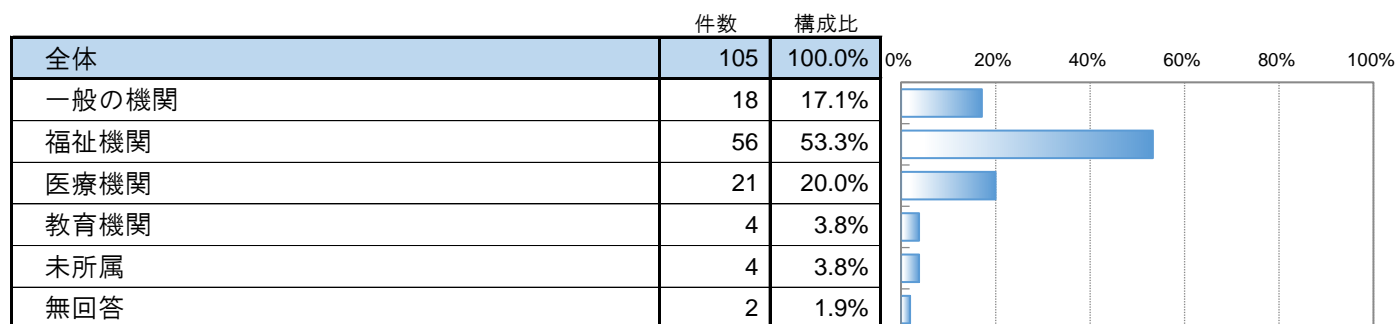


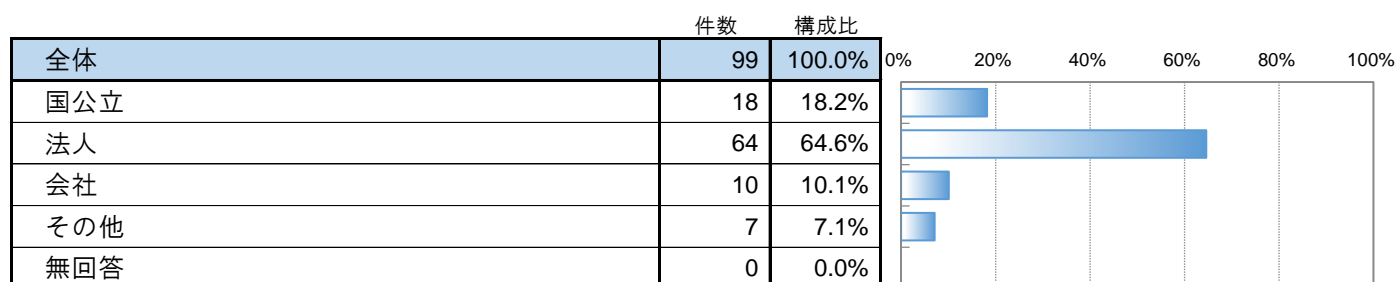
## 1. 所属機関



全体傾向では、「福祉機関」56件（53.3%）が最も多く、続いて「医療機関」21件（20.0%）、「一般の機関」18件（17.1%）となっている。

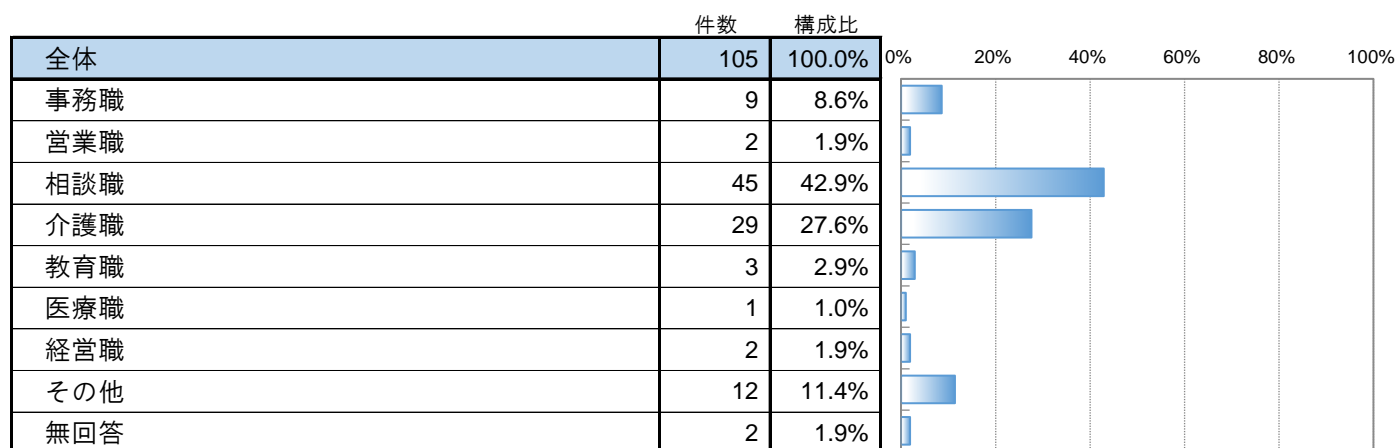
### 1-1. 所属機関の種別

【集計条件】 1. 所属機関…一般の機関／福祉機関／医療機関／教育機関



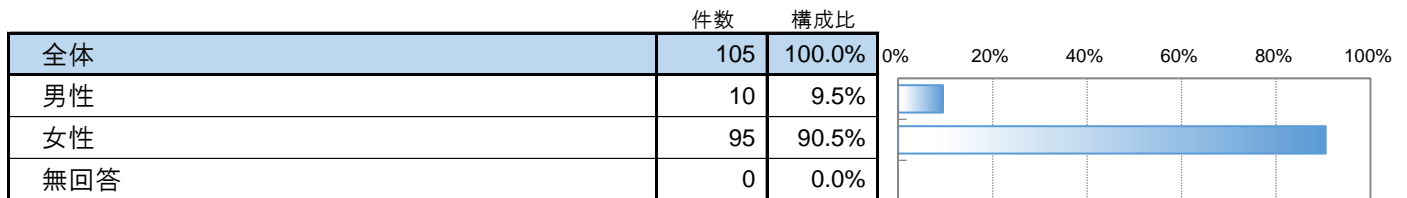
全体傾向では、「法人」64件（64.6%）が最も多く、続いて「国公立」18件（18.2%）、「会社」10件（10.1%）となっている。

## 2. 仕事内容



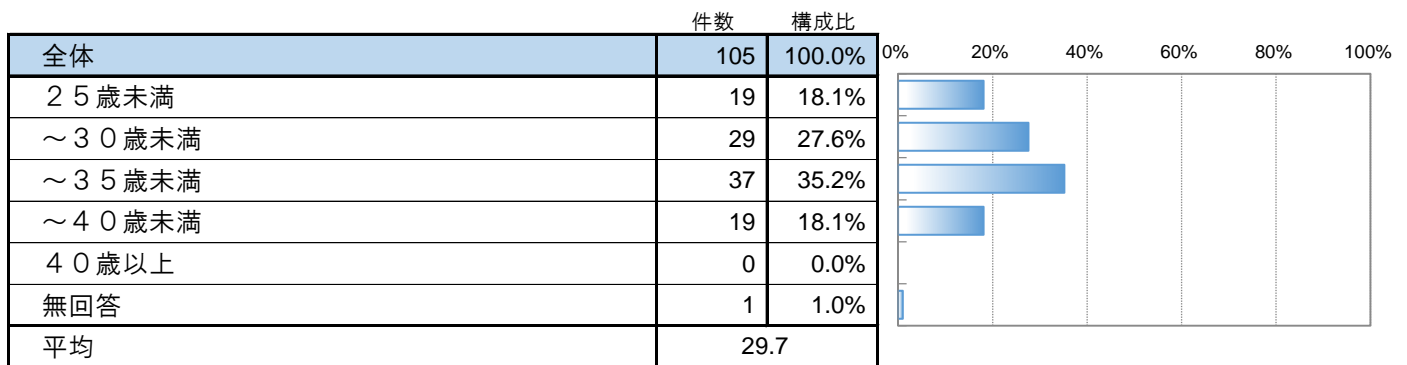
全体傾向では、「相談職」45件（42.9%）が最も多く、続いて「介護職」29件（27.6%）、「その他」12件（11.4%）となっている。

## 4. 性別



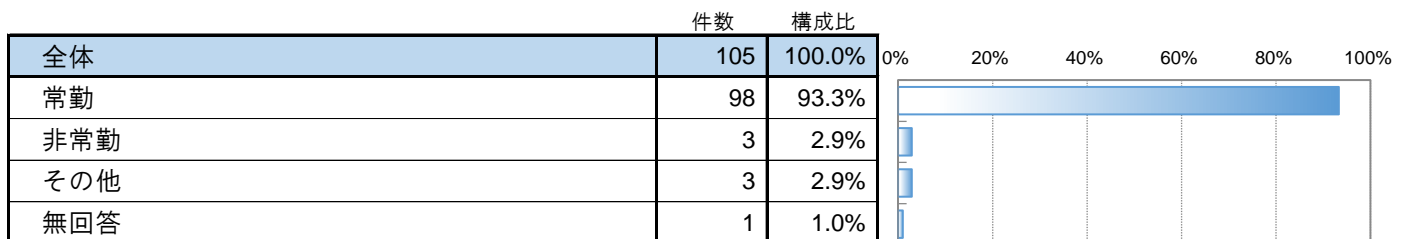
全体傾向では、「女性」95件（90.5%）、「男性」10件（9.5%）となっている。

## 5. 年齢



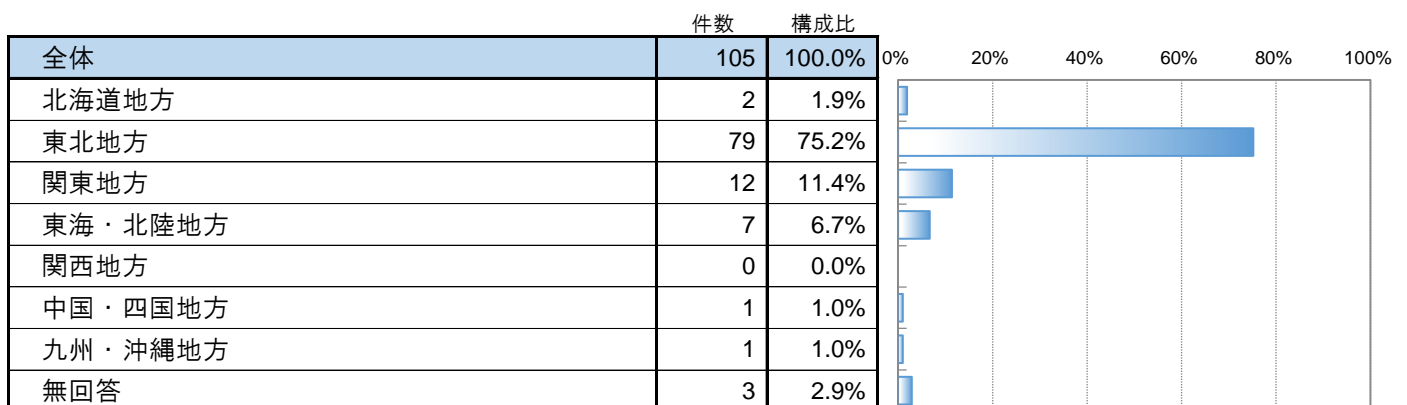
全体傾向では、「～35歳未満」37件（35.2%）が最も多く、続いて「～30歳未満」29件（27.6%）、「25歳未満」19件（18.1%）、「～40歳未満」19件（18.1%）となっている。

## 6. 勤務形態



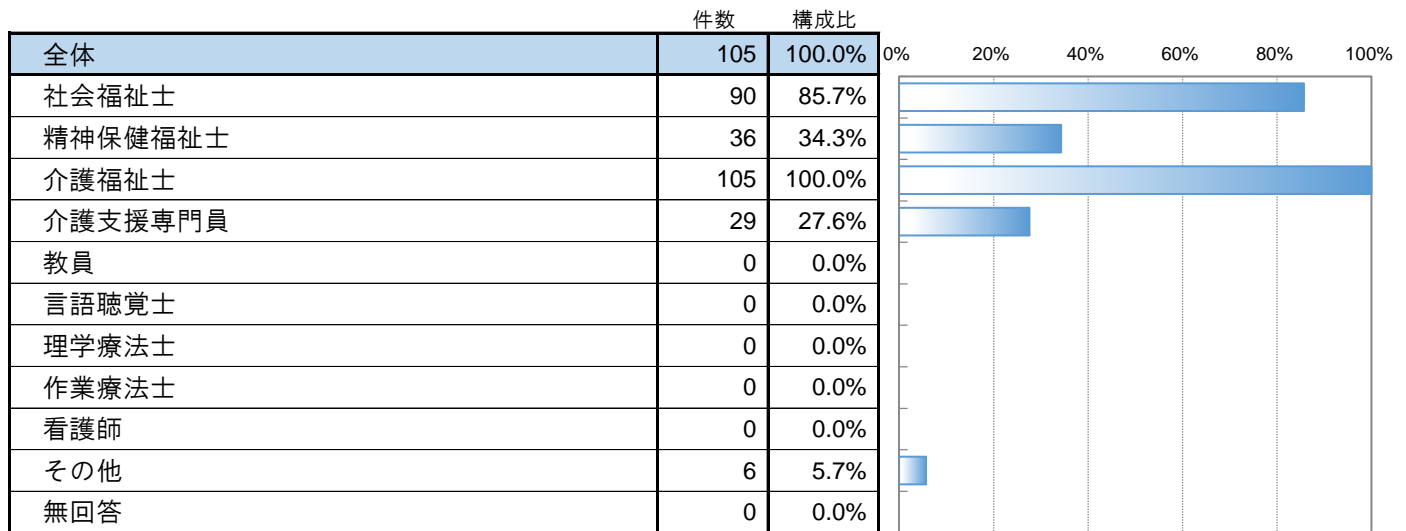
全体傾向では、「常勤」98件（93.3%）が最も多く、続いて「非常勤」3件（2.9%）、「その他」3件（2.9%）となっている。

## 7. 勤務地域



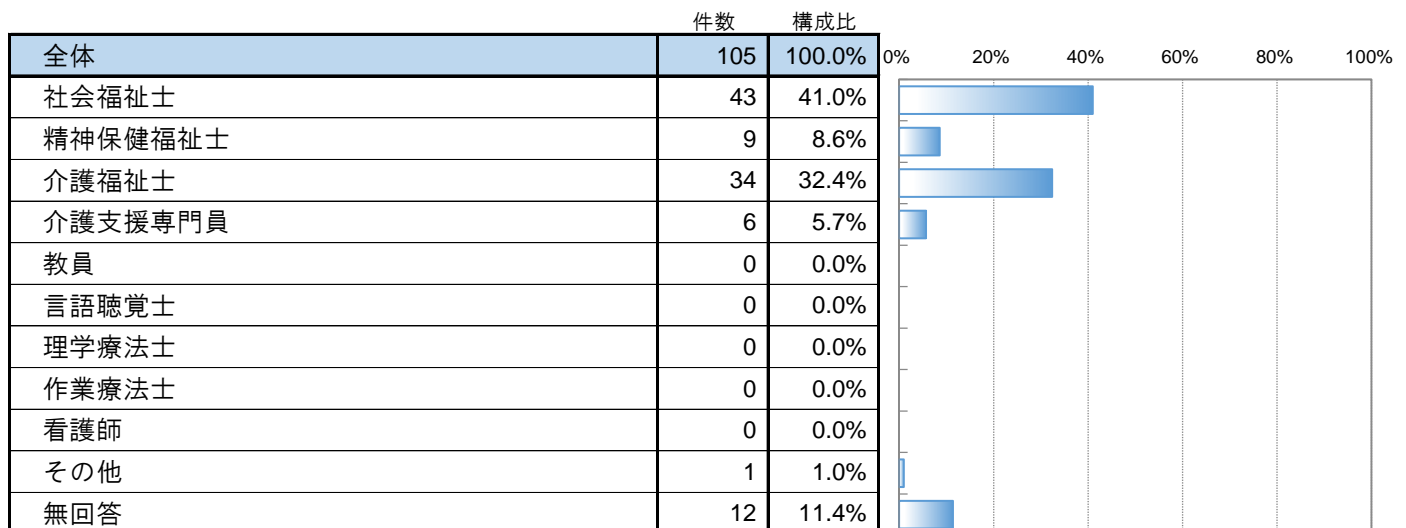
全体傾向では、「東北地方」79件（75.2%）が最も多く、続いて「関東地方」12件（11.4%）、「東海・北陸地方」7件（6.7%）となっている。

## 8. 取得資格



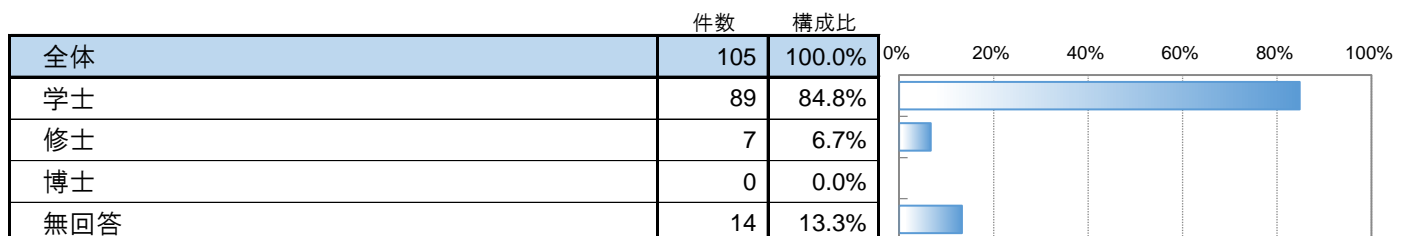
全体傾向では、「介護福祉士」105件（100.0%）が最も多く、続いて「社会福祉士」90件（85.7%）、「精神保健福祉士」36件（34.3%）となっている。

## 9. 最も活用している資格



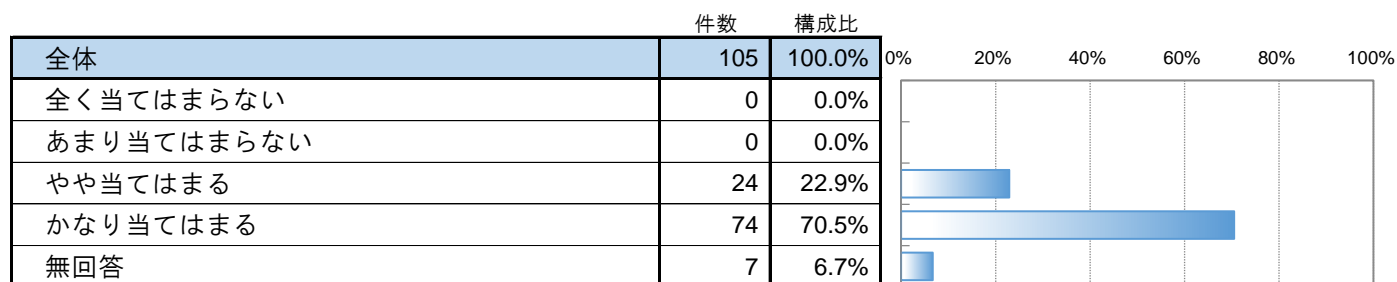
全体傾向では、「社会福祉士」43件（41.0%）が最も多く、続いて「介護福祉士」34件（32.4%）、「精神保健福祉士」9件（8.6%）となっている。

## 11. 取得学位



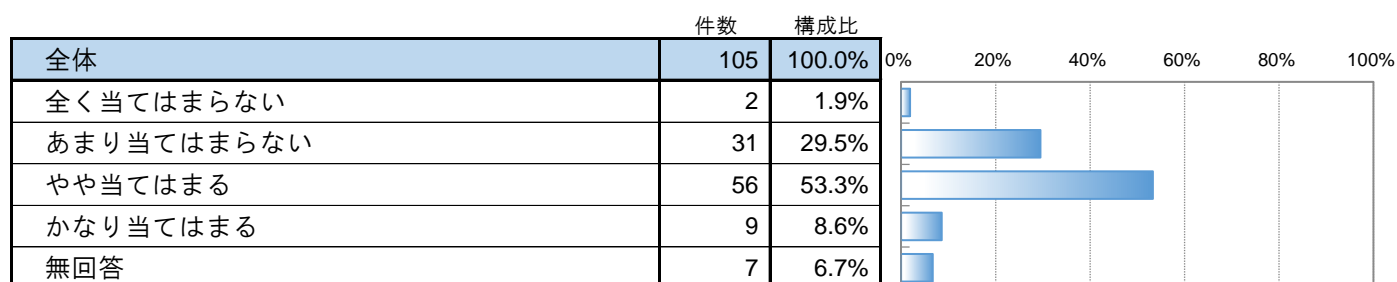
全体傾向では、「学士」89件（84.8%）が最も多く、続いて「修士」7件（6.7%）、「博士」0件（0.0%）となっている。

#### 14-①. 学士教育:専攻する学問分野における知識を修得した



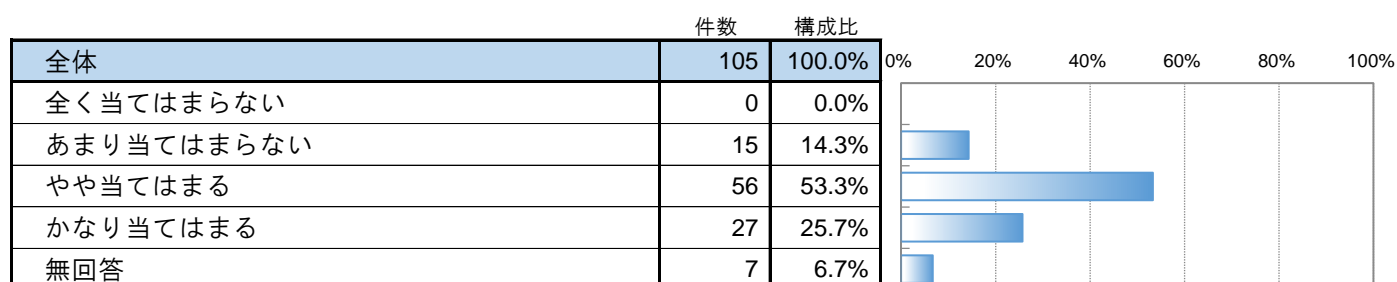
全体傾向では、「かなり当てはまる」74件（70.5%）が最も多く、続いて「やや当てはまる」24件（22.9%）、「全く当てはまらない」0件（0.0%）、「あまり当てはまらない」0件（0.0%）となっている。

#### 14-②. 学士教育:研究を行う力を修得した



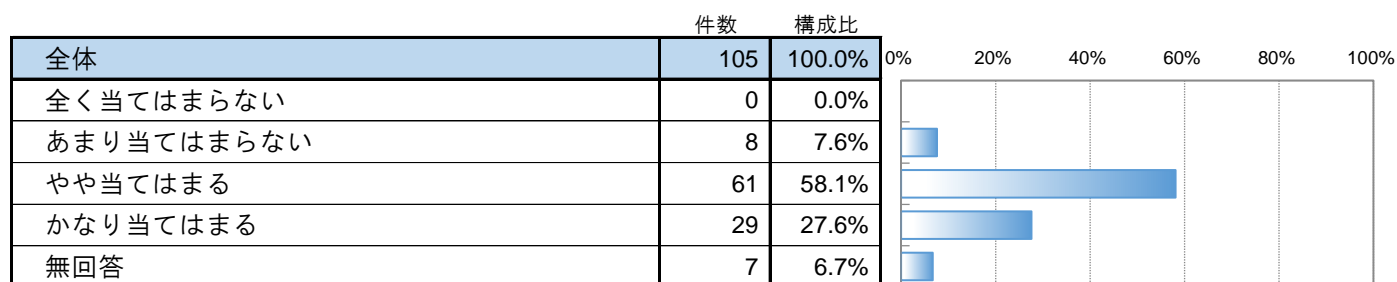
全体傾向では、「やや当てはまる」56件（53.3%）が最も多く、続いて「あまり当てはまらない」31件（29.5%）、「かなり当てはまる」9件（8.6%）、「全く当てはまらない」2件（1.9%）となっている。

#### 14-③. 学士教育:専門性を社会等で活用する力を修得した



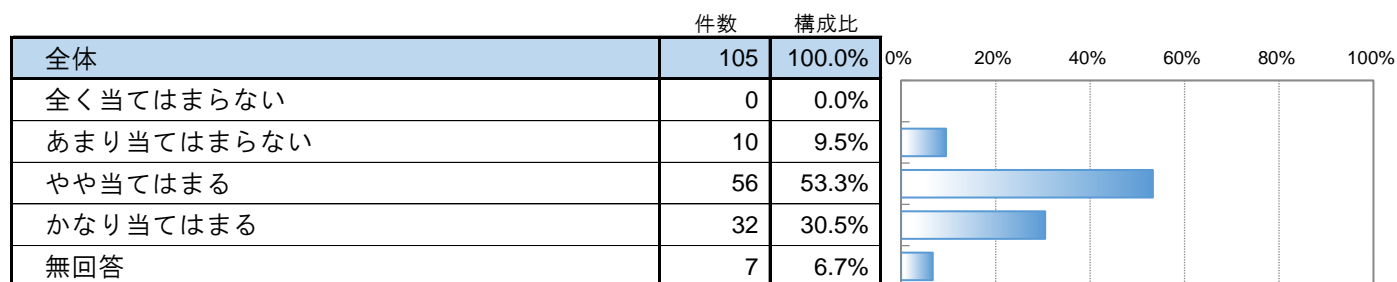
全体傾向では、「やや当てはまる」56件（53.3%）が最も多く、続いて「かなり当てはまる」27件（25.7%）、「あまり当てはまらない」15件（14.3%）、「全く当てはまらない」0件（0.0%）となっている。

#### 14-④. 学士教育:教養を修得した



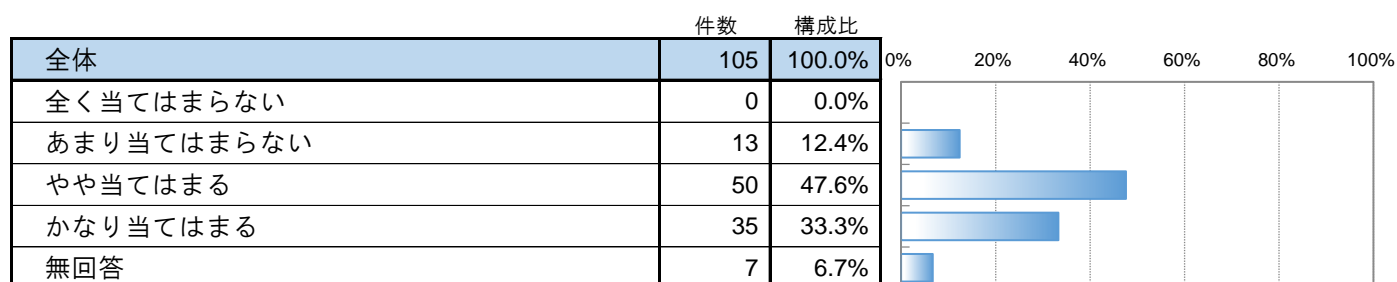
全体傾向では、「やや当てはまる」61件（58.1%）が最も多く、続いて「かなり当てはまる」29件（27.6%）、「あまり当てはまらない」8件（7.6%）、「全く当てはまらない」0件（0.0%）となっている。

#### 14ー⑤. 学士教育: 基本的な学力を修得した



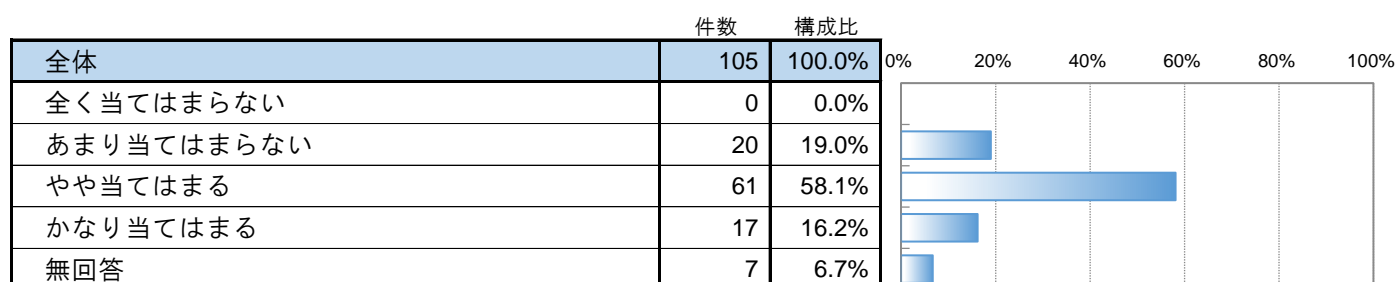
全体傾向では、「やや当てはまる」56件（53.3%）が最も多く、続いて「かなり当てはまる」32件（30.5%）、「あまり当てはまらない」10件（9.5%）、「全く当てはまらない」0件（0.0%）となっている。

#### 14ー⑥. 学士教育: コミュニケーションスキルを修得した



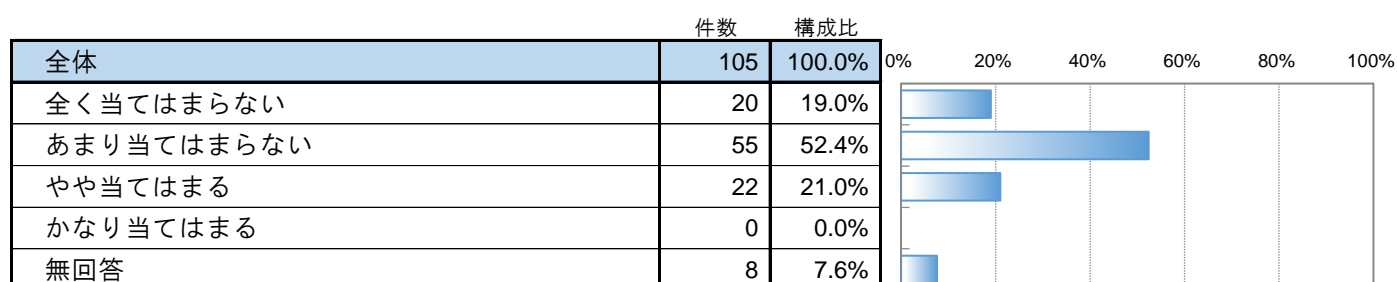
全体傾向では、「やや当てはまる」50件（47.6%）が最も多く、続いて「かなり当てはまる」35件（33.3%）、「あまり当てはまらない」13件（12.4%）、「全く当てはまらない」0件（0.0%）となっている。

#### 14ー⑦. 学士教育: 自らの新たな課題を解決する能力を修得した



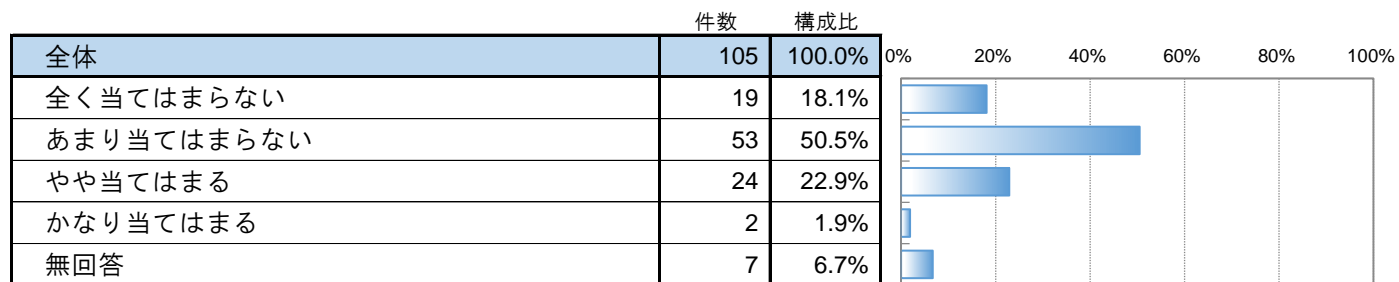
全体傾向では、「やや当てはまる」61件（58.1%）が最も多く、続いて「あまり当てはまらない」20件（19.0%）、「かなり当てはまる」17件（16.2%）、「全く当てはまらない」0件（0.0%）となっている。

#### 14ー⑧. 学士教育: 語学力を修得した



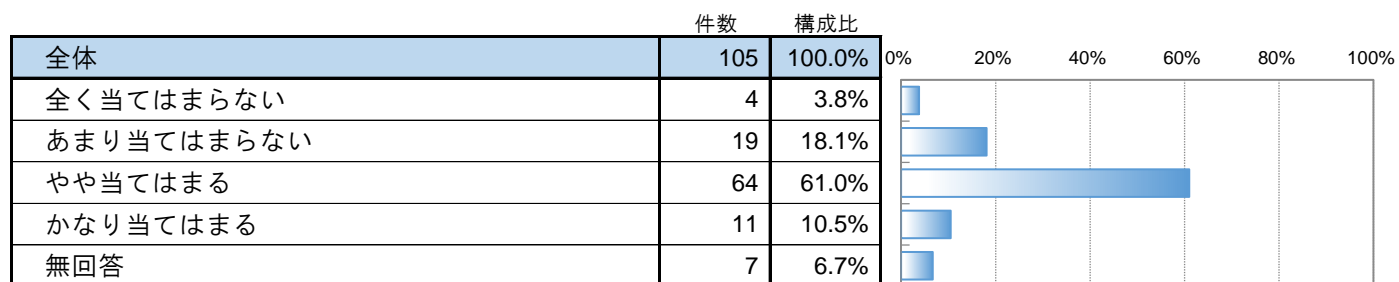
全体傾向では、「あまり当てはまらない」55件（52.4%）が最も多く、続いて「やや当てはまる」22件（21.0%）、「全く当てはまらない」20件（19.0%）、「かなり当てはまる」0件（0.0%）となっている。

#### 14ー⑨. 学士教育:異文化に対する理解を修得した



全体傾向では、「あまり当てはまらない」53件（50.5%）が最も多く、続いて「やや当てはまる」24件（22.9%）、「全く当てはまらない」19件（18.1%）、「かなり当てはまる」2件（1.9%）となっている。

#### 14ー⑩. 学士教育:自己管理能力を修得した



全体傾向では、「やや当てはまる」64件（61.0%）が最も多く、続いて「あまり当てはまらない」19件（18.1%）、「かなり当てはまる」11件（10.5%）、「全く当てはまらない」4件（3.8%）となっている。

## 15-1. 転職有無／1回目

	件数	構成比	
全体	105	100.0%	0% 20% 40% 60% 80% 100%
有り	64	61.0%	<div></div>
無し	41	39.0%	<div></div>
無回答	0	0.0%	

全体傾向では、「有り」64件（61.0%）、「無し」41件（39.0%）となっている。

## 15-2. 卒業後年数／1回目転職時

【集計条件】 15-1. 転職有無／1回目…有り

	件数	構成比	
全体	64	100.0%	0% 20% 40% 60% 80% 100%
1年目	5	7.8%	<div></div>
～3年目	31	48.4%	<div></div>
～5年目	13	20.3%	<div></div>
～7年目	11	17.2%	<div></div>
～9年目	2	3.1%	<div></div>
10年目以降	2	3.1%	<div></div>
無回答	0	0.0%	
平均	3.8		
標準偏差	2.4		

全体傾向では、「～3年目」31件（48.4%）が最も多く、続いて「～5年目」13件（20.3%）、「～7年目」11件（17.2%）となっている。

## 15-1. 転職有無／2回目

	件数	構成比	
全体	105	100.0%	0% 20% 40% 60% 80% 100%
有り	41	39.0%	<div><div></div></div>
無し	64	61.0%	<div><div></div></div>
無回答	0	0.0%	

全体傾向では、「無し」64件（61.0%）、「有り」41件（39.0%）となっている。

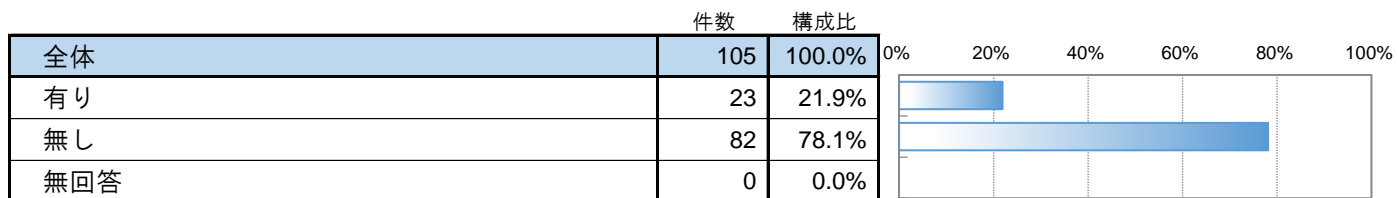
## 15-2. 卒業後年数／2回目転職時

【集計条件】 15-1. 転職有無／2回目…有り

	件数	構成比	
全体	41	100.0%	0% 20% 40% 60% 80% 100%
1 年目	0	0.0%	<div><div></div></div>
～3 年目	7	17.1%	<div><div></div></div>
～5 年目	10	24.4%	<div><div></div></div>
～7 年目	13	31.7%	<div><div></div></div>
～9 年目	7	17.1%	<div><div></div></div>
10 年目以降	4	9.8%	<div><div></div></div>
無回答	0	0.0%	
平均	6.2		
標準偏差	2.7		

全体傾向では、「～7 年目」13件（31.7%）が最も多く、続いて「～5 年目」10件（24.4%）、「～3 年目」7件（17.1%）となっている。

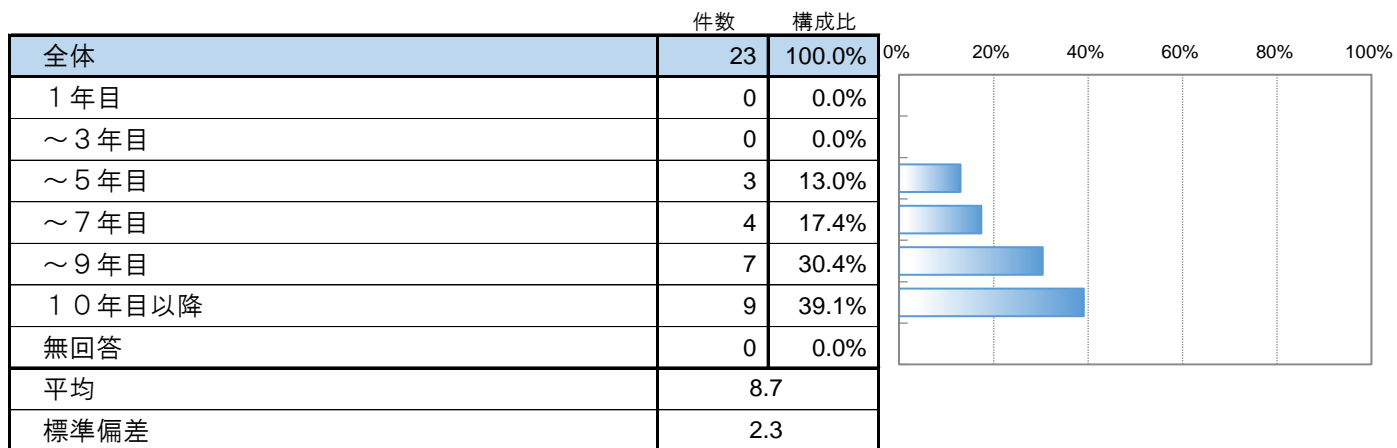
## 15-1. 転職有無／3回目



全体傾向では、「無し」82件（78.1%）、「有り」23件（21.9%）となっている。

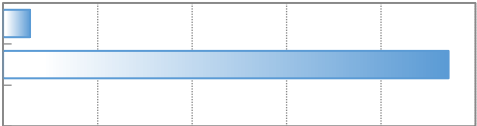
## 15-2. 卒業後年数／3回目転職時

【集計条件】 15-1. 転職有無／3回目…有り



全体傾向では、「10年目以降」9件（39.1%）が最も多く、続いて「～9年目」7件（30.4%）、「～7年目」4件（17.4%）となっている。

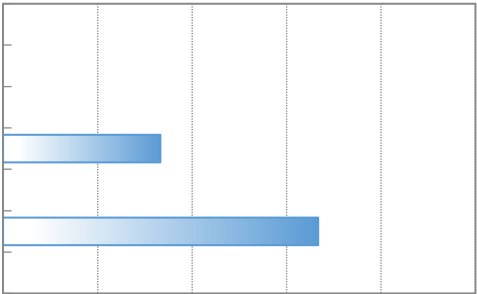
## 15-1. 転職有無／4回目

	件数	構成比	
全体	105	100.0%	0% 20% 40% 60% 80% 100%
有り	6	5.7%	
無し	99	94.3%	
無回答	0	0.0%	

全体傾向では、「無し」99件（94.3%）、「有り」6件（5.7%）となっている。

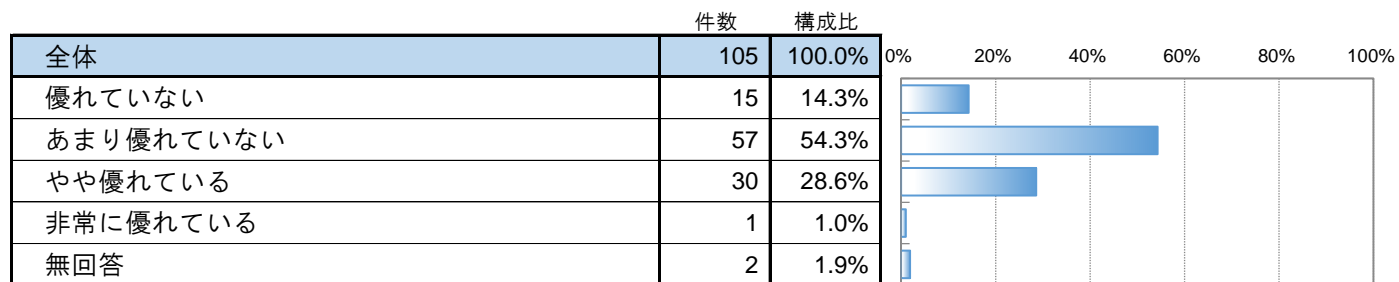
## 15-2. 卒業後年数／4回目転職時

【集計条件】 15-1. 転職有無／4回目…有り

	件数	構成比	
全体	6	100.0%	0% 20% 40% 60% 80% 100%
1年目	0	0.0%	
～3年目	0	0.0%	
～5年目	0	0.0%	
～7年目	2	33.3%	
～9年目	0	0.0%	
10年目以降	4	66.7%	
無回答	0	0.0%	
平均	8.8		
標準偏差	2		

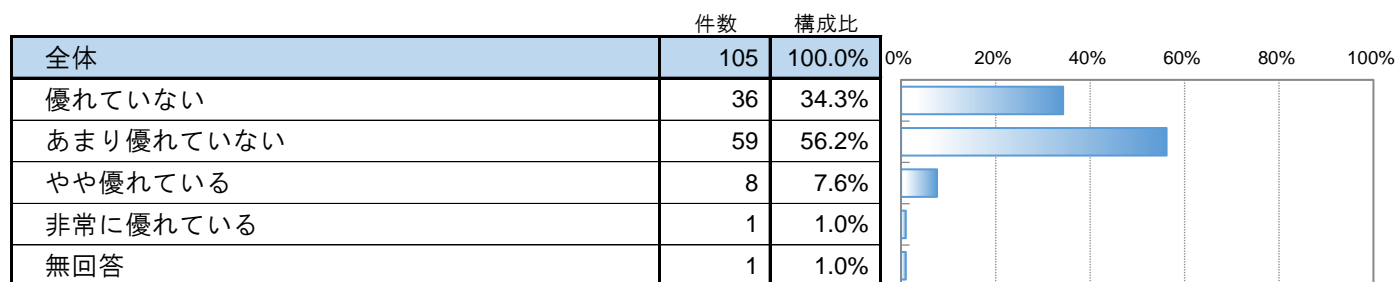
全体傾向では、「10年目以降」4件（66.7%）が最も多く、続いて「～7年目」2件（33.3%）、その後は0件（0.0%）となっている。

### 16-①. 自己評価:マネジメント能力



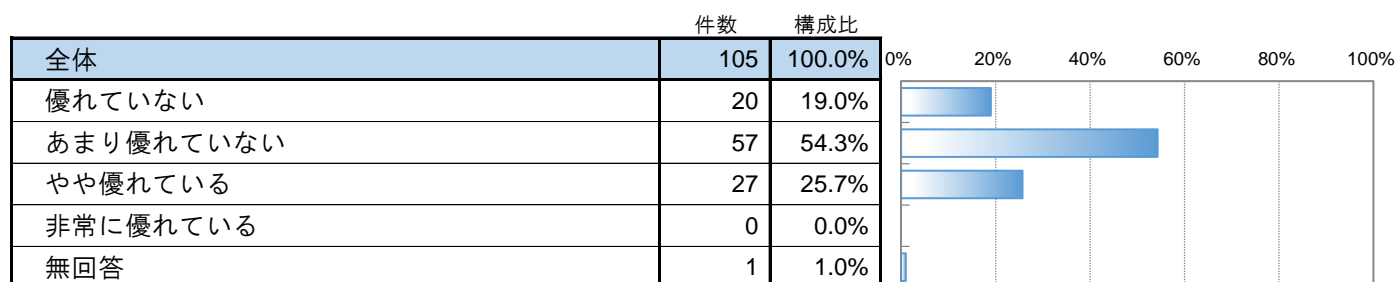
全体傾向では、「あまり優れていない」57件（54.3%）が最も多く、続いて「やや優れている」30件（28.6%）、「優れていない」15件（14.3%）、「非常に優れている」1件（1.0%）となっている。

### 16-②. 自己評価:人事能力



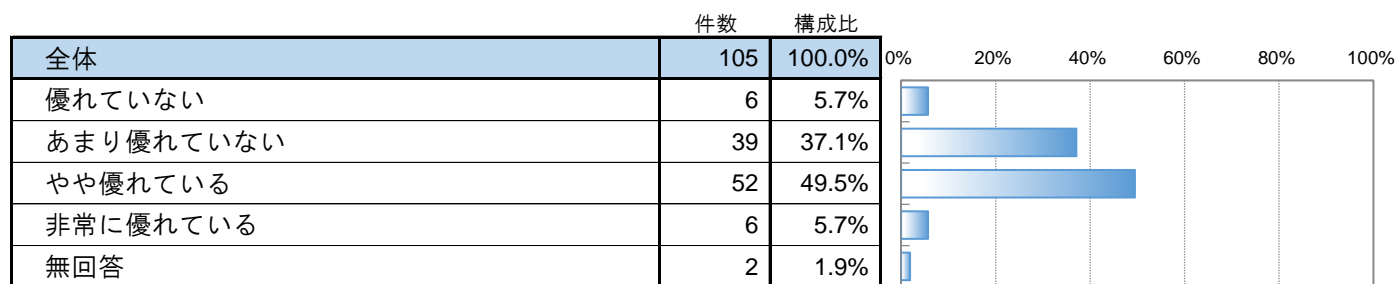
全体傾向では、「あまり優れていない」59件（56.2%）が最も多く、続いて「優れていない」36件（34.3%）、「やや優れている」8件（7.6%）、「非常に優れている」1件（1.0%）となっている。

### 16-③. 自己評価:リーダーシップ能力



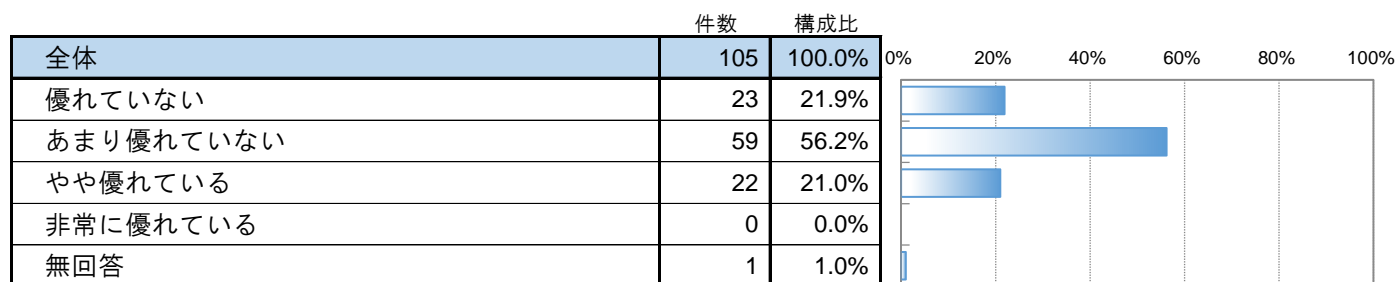
全体傾向では、「あまり優れていない」57件（54.3%）が最も多く、続いて「やや優れている」27件（25.7%）、「優れていない」20件（19.0%）、「非常に優れている」0件（0.0%）となっている。

#### 16-④. 自己評価:相談能力



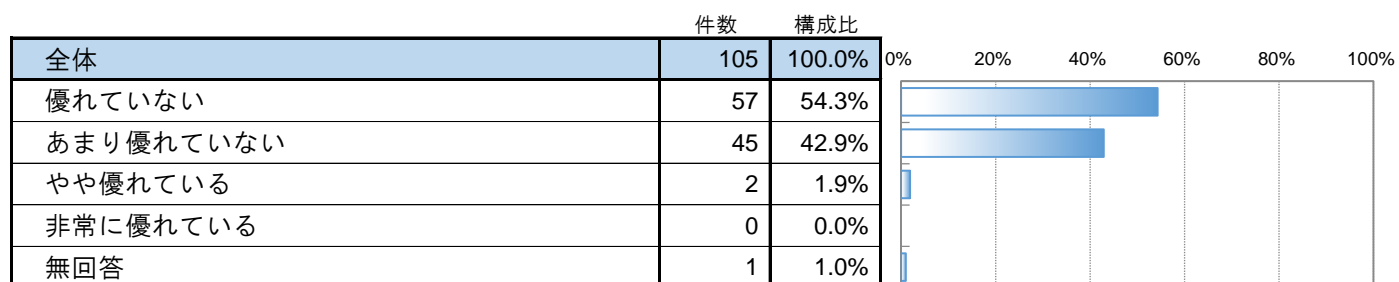
全体傾向では、「やや優れている」52件（49.5%）が最も多く、続いて「あまり優れていない」39件（37.1%）、「優れていない」6件（5.7%）、「非常に優れている」6件（5.7%）となっている。

#### 16-⑤. 自己評価:教育力



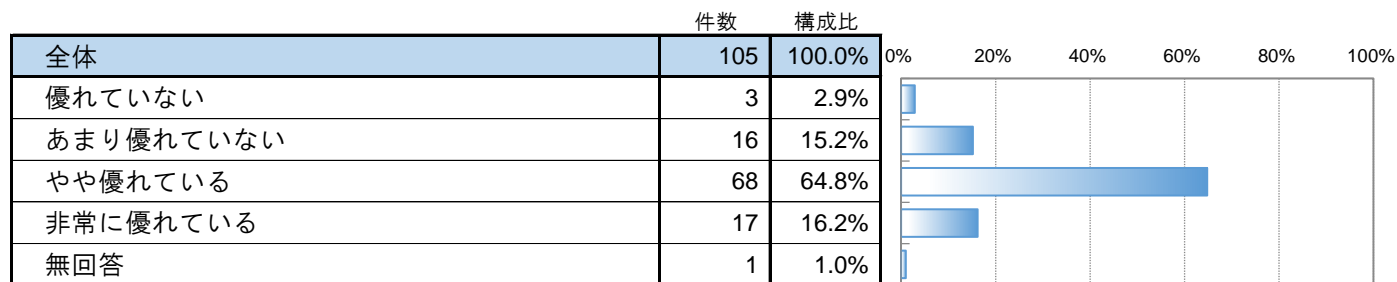
全体傾向では、「あまり優れていない」59件（56.2%）が最も多く、続いて「優れていない」23件（21.9%）、「やや優れている」22件（21.0%）、「非常に優れている」0件（0.0%）となっている。

#### 16-⑥. 自己評価:経営力



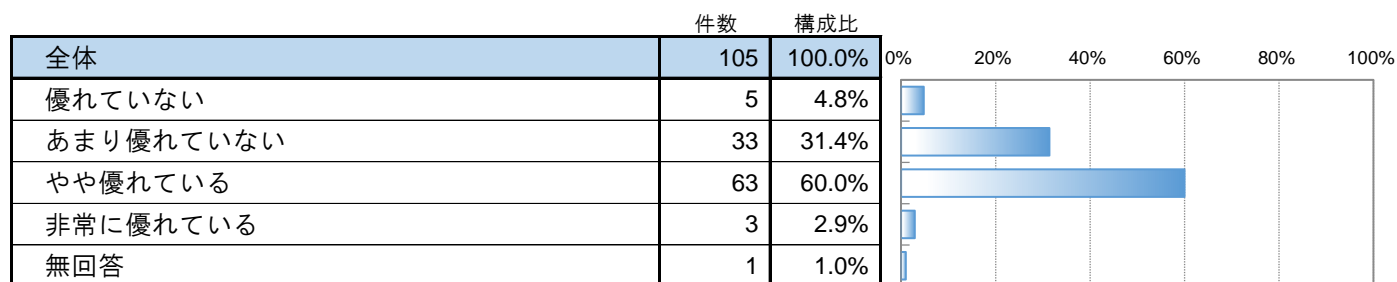
全体傾向では、「優れていない」57件（54.3%）が最も多く、続いて「あまり優れていない」45件（42.9%）、「やや優れている」2件（1.9%）、「非常に優れている」0件（0.0%）となっている。

## 16-⑦. 自己評価:協働力



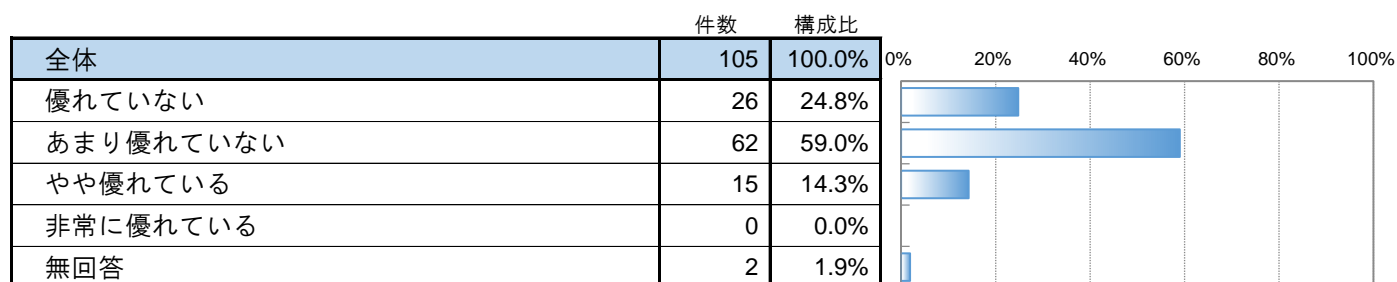
全体傾向では、「やや優れている」68件（64.8%）が最も多く、続いて「非常に優れている」17件（16.2%）、「あまり優れていない」16件（15.2%）、「優れていない」3件（2.9%）となっている。

## 16-⑧. 自己評価:探究力



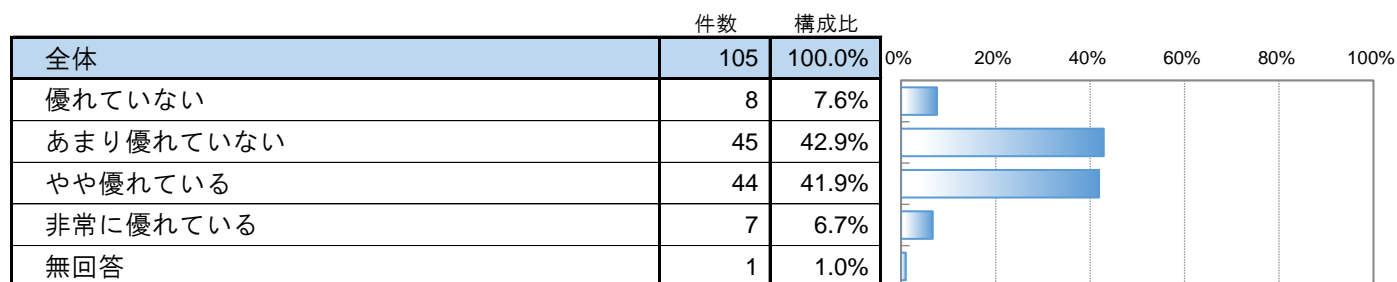
全体傾向では、「やや優れている」63件（60.0%）が最も多く、続いて「あまり優れていない」33件（31.4%）、「優れていない」5件（4.8%）、「非常に優れている」3件（2.9%）となっている。

## 16-⑨. 自己評価:指導力



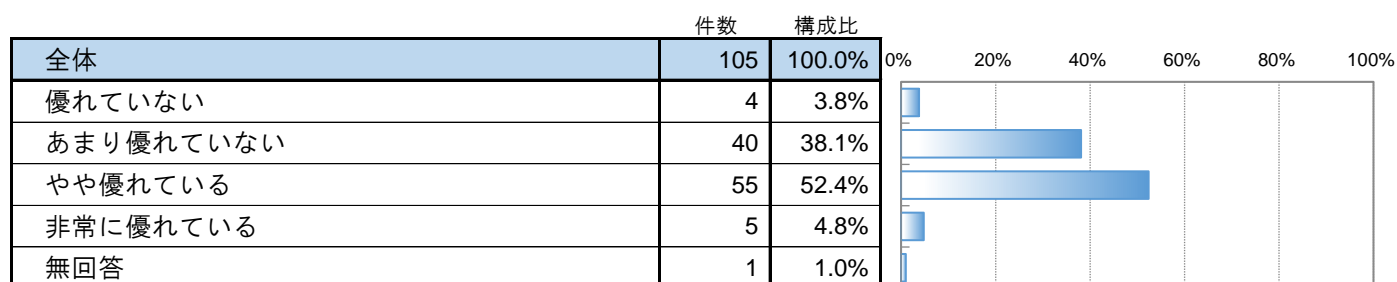
全体傾向では、「あまり優れていない」62件（59.0%）が最も多く、続いて「優れていない」26件（24.8%）、「やや優れている」15件（14.3%）、「非常に優れている」0件（0.0%）となっている。

## 16-⑩. 自己評価:時間管理能力



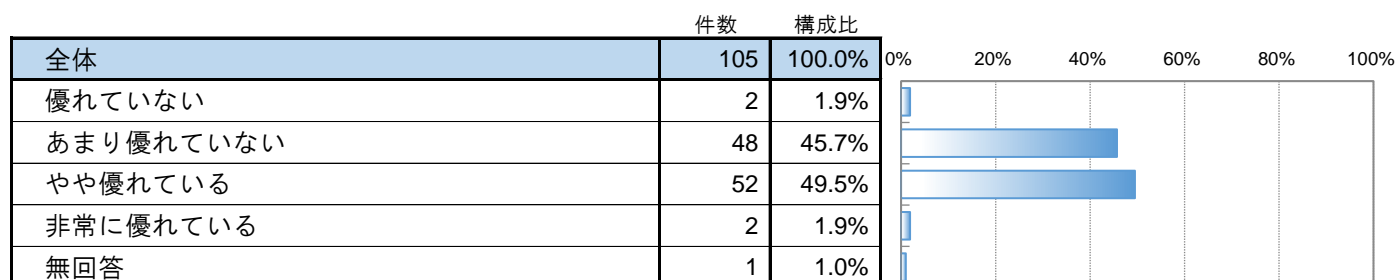
全体傾向では、「あまり優れていない」45件（42.9%）が最も多く、続いて「やや優れている」44件（41.9%）、「優れていない」8件（7.6%）、「非常に優れている」7件（6.7%）となっている。

## 16-⑪. 自己評価:仕事調整力



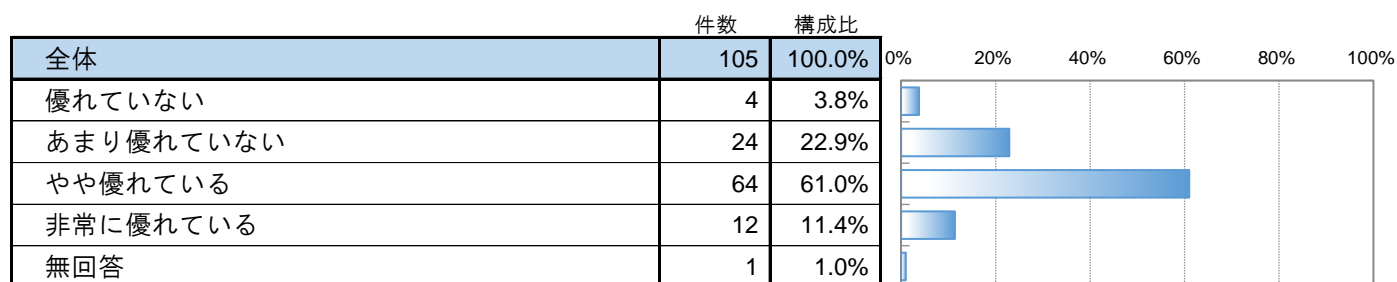
全体傾向では、「やや優れている」55件（52.4%）が最も多く、続いて「あまり優れていない」40件（38.1%）、「非常に優れている」5件（4.8%）、「優れていない」4件（3.8%）となっている。

## 16-⑫. 自己評価:課題発見力



全体傾向では、「やや優れている」52件（49.5%）が最も多く、続いて「あまり優れていない」48件（45.7%）、「優れていない」2件（1.9%）、「非常に優れている」2件（1.9%）となっている。

## 16-⑬. 自己評価:倫理力



全体傾向では、「やや優れている」64件（61.0%）が最も多く、続いて「あまり優れていない」24件（22.9%）、「非常に優れている」12件（11.4%）、「優れていない」4件（3.8%）となっている。